

芭蕉元禄事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十八年二月度 入選句（投稿総数一九九一句・小中学投句数一四五八句）

### 特選

選者 高木 佐知子

重なつたみんなの手のひらかるたとり 大垣市

西本 多恵(小五)

お正月ならではの伝統的な遊びの一つのかるたとりを楽しんでいる様子が伝わってきます。読み札が読まれると身をのり出して取り札を見つめ、同じ札をめぐっていつせいに手を出したのでしよう。「重なつたみんなの手のひら」という上五・中七から、かるたとりの明るく緊迫した場面を想像することができる勢いのある一句です。

けんかしたともだちからの年がじょう 大垣市

まぶち 圭吾(小二)

年賀状は、一年に一度、新年に届けたよりで、ともだちからの年賀状は、誰もがみんなうれいものです。圭吾さんは、その中に特別な一枚を見つけたのでしよう。それを見ている圭吾さんが、ますます笑顔になつていくのがわかります。一枚の年賀状で二人の気もちはぐつと近づきましたね。うれしい気もちをうまく表現した一句です。

めんかぶる父に豆まき「おにも内」 大垣市

炭竈 凜奈(小四)

節分に行く豆まきのおにの役はお父さんなのでしようか。家族みんなで一年の健康としあわせを願つて豆まきをしている明るい声が聞こえてきそうです。この句をより明るい句にしているのは、下五の「おにも内」です。みんなが大好きなお父さんを追い払うなどということではできません。仲良し家族の温かさがあふれる素敵な一句です。

### 秀逸

朝の道田んぼの足あと氷はる 大垣市

秦 柚葉(小三)

冬の月私をてらしはげますよ 大垣市

山形 萌恵香(小六)

雪踏んで小さな靴の跡残る 美濃加茂市

柘植 幹大(中二)

春の日に期待をせおい歩きだす 美濃加茂市

美濃輪 莉香(中三)

同じ札ずつと見つめるかるたとり 大垣市

齋藤 優衣(小五)

ねがいこめおせちりょうりをほおぼるよ 大垣市

山田 ゆず(小二)

つくしさんもうすぐはるだよおきてきて 大垣市

ぬのめ くれは(小二)

くつの中きのうのふく豆入ってる 大垣市

多和田 芽依(小四)

お手伝い皿洗う手がごこえるよ 大垣市

加藤 悠花(小五)

雪合戦本気出しすぎお父さん 大垣市

関谷 泉吹(小五)

入選

朝のまどつららの顔がならんぞ	大垣市	仲井	心菜(小四)
こままわし達人目指すお正月	大垣市	佐竹	一希(小四)
北風がぼくの両手をこおらせる	大垣市	坪井	優也(小六)
雪搔をしながらかこつそり雪合戦	大垣市	高木	柑菜(小六)
真白の雪が積れば笑み積もる	美濃加茂市	糟谷	翔(中二)
勝つために勝負の冬と走り込む	美濃加茂市	小島	花歩(中二)
初夢のラストの前に母の目覚まし	美濃加茂市	沖館	快音(中二)
雪の道足あとと私鬼ごっこ	美濃加茂市	今井	優奈(中三)
おばあちゃん寒い朝でもウォーキング	揖斐郡大野町	林	杏奈(小四)
へんじして元気にとったかるたとり	大垣市	炭竈	玲亜(小二)

入選

おてつきをしてもたのしいかるたとり	大垣市	はつとり	こう大(小二)
ゆきだるまだれがいちばんおおきいの	大垣市	あべ	えみゆ(小二)
ふくはうちぼくの心のおには外	大垣市	しのだ	ふうき(小二)
ふとまきはぼくにはちよつぱりおおきいな	大垣市	大つか	るい(小二)
春のじどこまで行くんだくぐれない	大垣市	小林	りん子(小三)
はやく咲き目立ちたがりやの梅の花	大垣市	山田	優杏(小四)
しゃぼん玉仲間といっしょに空の旅	大垣市	森本	彩乃(小四)
凧揚げが一番高いよぼくの凧	大垣市	森下	颯人(小四)
からっ風私の耳を赤くする	大垣市	川瀬	桃愛(小五)
福はうちその一言で福をよぶ	大垣市	古田	悠之介(小五)

選者吟

桜東風角のポストへ遠まわり

佐知子